



2022年10月18日

各 位

会 社 名 株式会社SRAホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 鹿 島 亨
(コード:3817、東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員
管 理 本 部 長 松 野 善 方
(TEL 03-5979-2666)

配当方針の見直しに関するお知らせ

当社は、2022年10月18日開催の取締役会において、以下のとおり配当方針の見直しについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当方針の見直し

(見直し前)

「配当性向 50%を目処に、安定的な高配当を目指す」

「株主資本の効率的活用の指標である ROE を継続的に 10%以上確保する」

(見直し後)

「配当性向 50%を目処に、安定的な高配当を目指す」

「株主資本の効率的活用の指標である ROE を継続的に 10%以上確保する」

なお、実現していない損益等が原因で親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等においては、その影響を考慮し配当額を決定する。

2. 見直し事由

当社では、「株主還元の更なる充実を図る」ことを経営の重点施策と位置づけ、「配当性向 50%を目処に、安定的な高配当を目指す」こと、ならびに、「株主資本の効率的活用の指標である ROE を継続的に 10%以上確保する」ことを、配当方針としております。

外貨建て資産や投資有価証券につきましては、為替相場や株式相場など市況動向の影響を受けやすく、決算の結果、評価損益が発生することがあります。但し、評価損益はあくまで「未実現損益」であり、配当原資には馴染まないものと考えております。

そのため、実現していない損益等が原因で親会社株主に帰属する当期純利益が変動する場合等には、当期純利益から「未実現損益」等を控除したうえで、配当性向が 50%となることを目途に、具体的な配当水準を検討することが妥当であり、今後も中長期的に安定的な配当を実現していくうえで必要と考えられることから、方針を明確化したものです。

(なお、決算短信等開示資料上での「配当性向」は、これまで同様、「実現していない評価損益を含めた」当期純利益をもとに算出した配当性向が記載されますので、ご注意ください。)

3. 実施時期

2023年3月期の期末配当より適用いたします。

以 上